

第 14 回環日本海拠点都市会議概要について

- 1.開催目的 米子市は、山陰唯一の国際定期航空便が就航する米子空港を有し、滑走路延長など国際空港としての機能の充実を図るための空港整備が進む中、鳥取県とともに「環日本海交流」の西の拠点を目指し、環日本海地域の各都市と友好関係を結び、経済、観光、環境、文化などさまざまな分野で積極的な交流を進めています。
- 第 14 回を迎える環日本海拠点都市会議においては、これまでの成果を踏まえ、環日本海地域における都市間交流の促進、とりわけ経済・観光分野での交流の促進、また、環境分野での国際的な取り組みについて意見交換を行い、会議を構成する都市の一体的な発展方策を協議します。
- 2.会議の主催 米子市
- 3.事業の内容
- (1) 会議のテーマ 「環日本海都市間交流の促進方策」
【議題 1】経済・観光分野での交流促進について
【議題 2】環境分野での国際的な取り組みについて
- (2) 開催期間 平成 20 年 8 月 26 日(火)～29 日(金)
米子 - ソウル便就航日に合わせ開催期間を設定
- (3) 開催場所 米子コンベンションセンター 国際会議室
- (4) 全体日程
- 8 月 26 日(火) 各都市代表団 来米
- 8 月 27 日(水) 第 14 回環日本海拠点都市会議(4 カ国語同時通訳)
- (10:30)開会
主催者挨拶 野坂康夫 米子市長
- (10:45)基調講演 平井伸治 鳥取県知事
- (12:00)昼食
- (13:30)首長会議 「環日本海都市間交流の促進方策」
【議題 1】経済・観光分野での交流促進について
【議題 2】環境分野での国際的な取り組みについて
備忘録への署名
- (17:00)閉会
- (18:00) <米子市長主催歓迎レセプション>
- 8 月 28 日(木) 企業、周辺視察等
<境港市長主催歓送会>
- 8 月 29 日(金) 各都市代表団 帰国
- (5) 参加都市(公式参加者:3 名)・・・平成 20 年 6 月 30 日現在
(4 カ国 9 都市、オブザーバー 4 都市 1 県)

日 本：米子市、境港市、敦賀市
オブザーバー参加(傍聴)・・・浜田市、新潟市、秋田県
(中海市長会構成市としてオブザーバー参加) 松江市、安来市
韓 国：束草市(ソクチョシ)、東海市(トンヘシ)、浦項市(ポハンシ)
中 国：琿春市(フンチュンシ)、図們市(トモンシ)
ロシア：ハサン区

4.添付書類 環日本海拠点都市会議の開催状況について

5.問合わせ先 企画部総合政策課 国際交流室
電話：23 - 5374 (内線374)

(参考資料)

環日本海拠点都市会議の開催状況について

1. 開催の経緯と目的

1994年(平成6年)当時の片山鳥取県総務部長(前鳥取県知事)の提唱により環日本海の拠点都市間の交流と発展方策について、各都市首長が一堂に会し、地方の視点で環日本海圏域の一体的な発展方策を話し合い、将来の経済交流に向けて信頼を育み、発展的な取り組みを行う場として各都市持ち回りで「環日本海拠点都市会議」を開催してまいりました。

これまでの開催状況については次のとおりです。

回	年度	会議開催地	参加都市														
			日本					韓国			中国			ロシア			
			米子市	境港市	浜田市	敦賀市	上越市	鳥取市	新潟市	東草市	東海市	浦項市	琿春市	延吉市	図們市	ウラジオストク市	ナホトカ市
1	1994	鳥取県米子市															
2	1995	鳥取県米子市															
3	1996	韓国江原道東海市															
4	1997	韓国江原道東草市															
5	1998	中国吉林省琿春市															
6	2000	中国吉林省延吉市															
7	2001	鳥取県境港市															
8	2002	韓国江原道東草市															
9	2003	ウラジオストク市															
10	2004	中国吉林省図們市															
11	2005	鳥取県境港市															
12	2006	韓国江原道東海市															
13	2007	中国吉林省琿春市															

2. 過去の会議のテーマ

第1回：環日本海（東海）経済圏構想と拠点都市間の役割

第2回：環日本海時代における拠点都市の役割

第3回：21世紀環日本海（東海）時代のための拠点都市間の協力方策

第4回：21世紀における環東海圏時代のための拠点都市間における交流協力発展の方策について

第5回：環日本海観光開発と経済協力

第6回：21世紀の環日本海（東海）地区における国際協力

第7回：環日本海（東海）圏拠点都市間の更なる友好協力の拡大

第8回：環日本海（東海）拠点都市間の実質的な経済交流の活性化方策について

第9回：環日本海都市の発展への国際影響

第10回：環日本海地域における国際経済貿易協力及び中国東北地域工業の復興

第11回：行政と企業の協働による環日本海地域の経済交流の発展について

第12回：環日本海地域の経済交流実践方策について

第13回：協力を強め、ともに発展する

～環日本海地域の観光振興と経済交流の拡大について～

3. 前回の状況について

(1) 第13回環日本海拠点都市会議の概要

- ・テーマ：協力を強め、ともに発展する
～環日本海地域の観光振興と経済交流の拡大について～
- ・開催地：中国吉林省琿春市
- ・期 日：2007年(平成19年)8月25日
各都市の代表発言、意見交換。会議終了後、各代表が備忘録に署名

(2) 備忘録

第13回環日本海拠点都市会議備忘録

第13回環日本海拠点都市市長会議は、2007年8月25日に中国琿春市で開かれた。今回の会議に4ヶ国の13の都市が参加し、環日本海地域の国家及び都市間の友好交流と経済貿易合作を一層強化するため、各都市の代表は皆が関心を持っている問題について広範な意見交換を行い、以下のとおり合意された。

1. 第14回環日本海(東海)拠点都市市長会議は日本の鳥取県米子市において開催されることとなった。
2. 第12回環日本海(東海)拠点都市市長会議を振り返り、環日本海地区の国家、都市間の友好交流と経済協力をさらに促進することができた。
3. 環日本海地区国家・都市間の交流をさらに促進し、東北アジア地区の協力開発に関する打ち合わせを共同で進めることができた。
4. 日本海航路、琿春 - ザルビノ - 束草 - 新潟航路及び物流集散運輸の開通について、積極的に討議、研究した。
5. 環日本海各都市間の国境を越えた旅行路線開拓問題について積極的に研究、討議した。
6. 文化、教育、青少年交流、民間交流などの発展について、積極的意見交換が行われた。
7. 韓国慶尚北道浦項市が正式に環日本海(東海)拠点都市の会員都市になった。
8. 常設機構の設立問題は各都市が一名の代表を決めて積極的に研究することにした。

この覚書は、中国語、韓国語、日本語、ロシア語により作成され、各都市が一部ずつ保管する。

東海市(署名)、ウラジオストク市(署名)、ハサン区(署名)、境港市(署名)、米子市(署名)
束草市(署名)、上越市(署名)、図們市(署名)、新潟市(署名)、延吉市(署名)、浦項市(署名)
琿春市(署名)

会議には、秋田県がオブザーバーとして参加した。